

平成30年度北海道大学大学院

文学研究科修士課程入学試験問題（後期）

試験区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生特別入試 <input checked="" type="checkbox"/> 社会人特別入試
試験科目名	<input checked="" type="checkbox"/> 専門試験（ 日本文化論 ） <input type="checkbox"/> 共通外国語（ ）
出題の意図	<p>問題一は、日本古典文学・文化研究に関わる分野から、その文学史・文化史的、あるいは、文献学・国語史的問題に関する理解と知識を質すとともに、文章読解能力および論述能力をもあわせみるものである。</p> <p>問題二は、日本古典文学研究の根幹となる作品読解能力を問うものである。また、原資料を取り扱う能力をみるために変体仮名の翻字も課す。</p>

平成30年度  
北海道大学大学院文学研究科修士課程入学試験問題（後期）  
（専門試験） 日本文化論 全3枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 3枚、解答用紙 2枚を配付する。  
問題は二題あり、解答は問題一・二についてそれぞれ別の解答用紙を用いること。

---

## 問題一

次の文章は、諏訪春雄『国文学の百年』の一節である。これを読んで各自の観点から自由に意見を述べよ。

\*問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学研究科教務担当の窓口で閲覧してください。

出典 諏訪春雄著『国文学の百年』（勉誠出版、2014年1月、15頁～17頁）

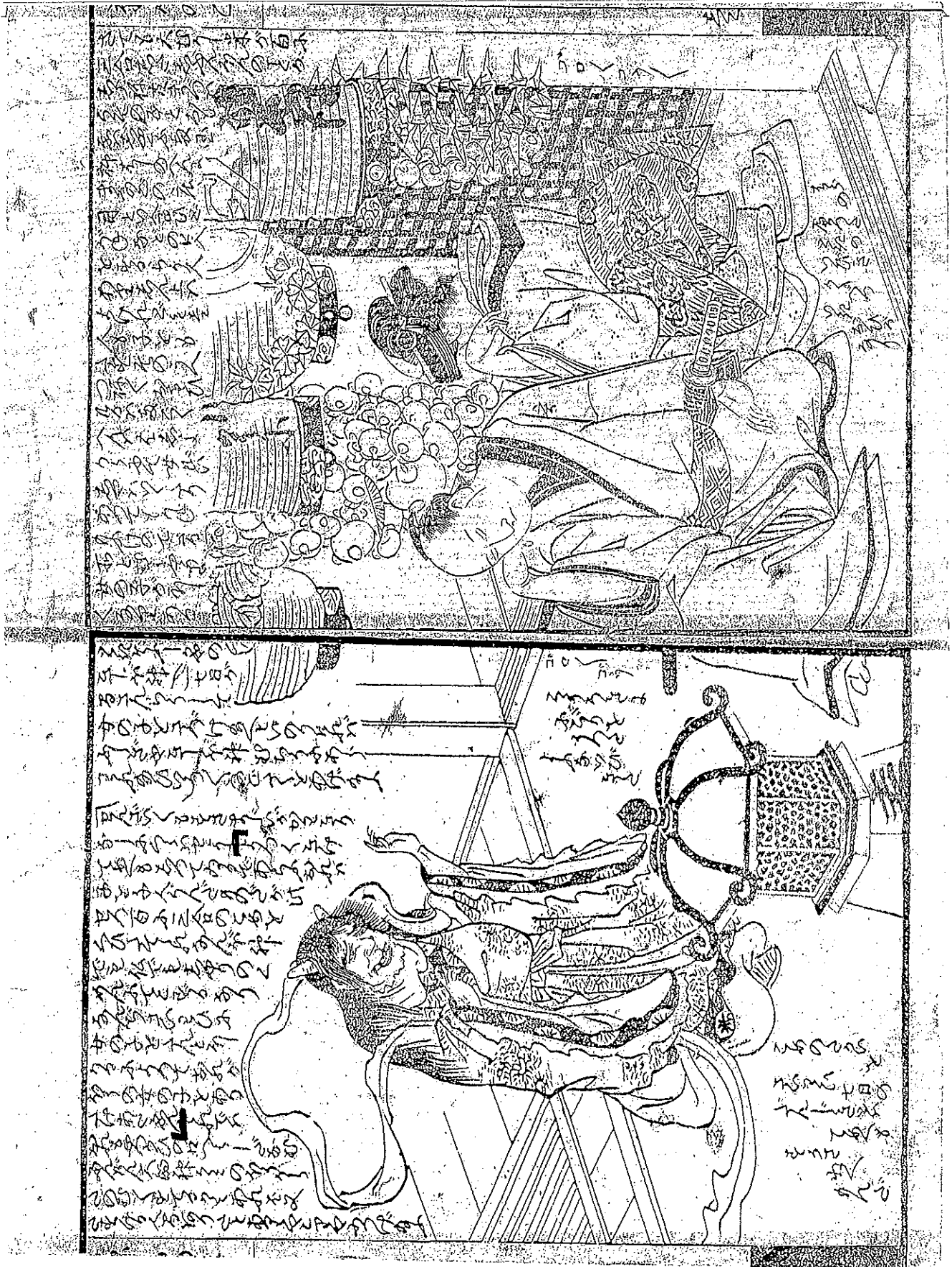
平成30年度（後期）

日本文化論

全3枚のうち2枚目

問題二

次の文献は『京鹿子娘泥鰌汁』（芝全交作、歌川豊国画）の一節である。読んで後の設問に答えよ。



問一 右文献に付した「」の部分、適宜句読点・濁点を付して通行の字体に翻字せよ。

問二 右文献について文学史的に説明し、その上で各自の関心に即して自由に論述せよ。